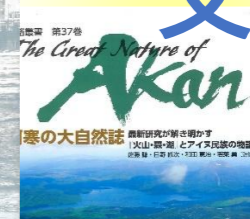
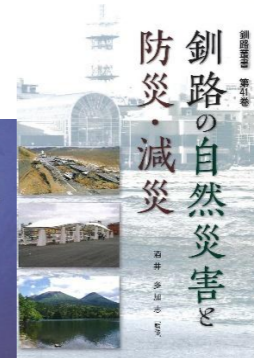


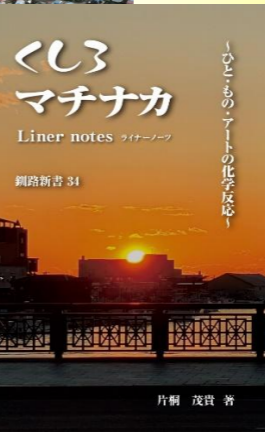
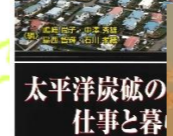
# 釧路市 刊行物 ご案内

## 歴史

## 文学



## 文化



## まちかど

## 自然

# 釧路が紡いだ物語

【購入・お問合せ】  
釧路市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課  
TEL 0154-31-4579 FAX 0154-22-9096  
E-mail sh-shougaigakushuu@city.kushiro.lg.jp  
〒085-0016 釧路市錦町2丁目4番地  
釧路フィッシャーマンズワーフMOO4階

釧路市では多彩なテーマで釧路を発信する本を出版しています。  
釧路の魅力がいっぱい詰まった本はいかがでしょう。  
釧路市教育委員会生涯学習課及び市内各書店等で発売中！

# 釧路新書

釧路新書は、釧路地域に関するテーマを親しみやすい内容と表現で綴る新書判のシリーズ。1977年より発刊。

釧路叢書は、釧路地域の歴史、自然科学、社会科学、文化、産業など多彩なテーマで学術的内容を網羅し、「釧路」を蓄積し、発信しつづけています。1960年より発刊。

# 釧路叢書

① <b>東北海道物語</b> 布施 正 釧路と根室や厚岸、十勝などのかかわりを200年の時を遡って紹介する。 (770円)	② <b>釧路川紀行</b> 佐藤 尚 源流から河口へ、釧路川べりの町の歴史と人の動きが伝わる紀行。 (534円)	④ <b>長いトンネルの道</b> 岡崎 正之 釧路を支えてきた石炭産業に働く、炭鉱マンであり歌人である著者がヤマで体験した記録。 (639円)	⑤ <b>鷗(ごめ)の話</b> 橋本 正雄 釧路の街を鳴きかう鷗(ごめ)とは、オオセグロカモメのこと。その生態について解説する。 (534円)
⑨ ⑪ <b>釧路歴史散歩 上・下</b> 佐藤 尚 釧路の歴史をコンパクトに紹介。観光案内としても楽しい好著。 (㊤639円、㊦534円)	⑫ ⑬ ⑮ <b>釧路地方政党史考</b> 黒坂 博 <u>上・中・下</u> 釧路の地方政治について政党を通して綴った三部作。 (各534円)	⑰ <b>釧路昔むかし</b> 市史編纂事務局 明治以前の釧路地方について、遺された史料から解明していく。 (639円)	⑲ <b>馬産王国・釧路</b> 寺島 敏治 かつて釧路は馬産王国だった！その歴史と文化を現代に伝える。 (639円)
⑳ <b>国泰寺歳時記</b> 佐藤 尚 江戸幕府建立の厚岸の国泰寺。日鑑記を通して国泰寺の姿を浮き彫りにする。 (639円)	㉑ <b>釧路の魚</b> 釧路の魚研究会 釧路近海の海洋環境、魚の生態などの研究成果が良くわかる一冊。 (639円)	㉒ ㉓ <b>釧路碑文手帳 I・II</b> 古文書研究会 釧路市内に建立されている碑の、碑文・来歴・建立意義をまとめたもの。 (㉑639円、㉒660円)	㉔ <b>道東の昆虫</b> 釧路昆虫同好会 道東の豊富なフィールドでの観察に基づいて、道東の昆虫について解明する。 (770円)
㉕ <b>街角の百年</b> 釧路市地域史料室 釧路の中心市街地として発展してきた北大通の形成過程を写真などで、読み解く。 (770円)	㉖ ㉗ <b>戦後史ノート 上・下</b> 釧路地方史研究会 戦後の釧路市は、都市としての急成長が見られた。その軌跡を明らかにする。 (各770円)	別冊 <b>釧路港味覚の散歩みち</b> 工藤 虎男 魚のプロが、釧路港のかくれた魚料理と人との出会いについて語る。 (880円)	㉙ <b>新版・釧路湿原</b> 釧路市地域史料室 この一冊で「釧路湿原」がわかる入門書。リニューアル版。 (880円)
③⑩ <b>増補・石川啄木</b> 鳥居省三・北畠立朴補注 新聞記者として冬の76日間を釧路に暮らした石川啄木の軌跡と魅力に迫る。増補版。 (770円)	③① <b>「挽歌」物語</b> 盛 厚三 原田康子の「挽歌」をめぐる様々なドラマやエピソードが懐かしい釧路の匂いを伝える。 (770円)	③② <b>釧路を彩る作家たち</b> 瀬戸 厚志 釧路ゆかりの美術作家7人の軌跡から、創作のエッセンス、「釧路らしさ」を想う。 (770円)	③③ <b>くしろの太鼓</b> 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 北海道最古のアマチュア和太鼓集団、半世紀の歩み。 (770円)
③④ <b>くしろマチナカ</b> 片桐 茂貴 文化芸術とそれを支える方々の思いから、「我が街釧路」の魅力を再発見できる一冊。 (770円)	③⑤ <b>伝えたい「蔵」の記憶</b> 木村 浩章 時代とともに移り変わる釧路の街並いから、「我が街釧路」の魅力を再発見できる一冊。 (770円)		

⑰ <b>タンチョウの釧路</b> 釧路叢書編纂事務局 釧路のタンチョウ保護活動と、それらを取りまく風土と人々との強いふれあいの姿を描く。 (1,598円)	⑲ <b>釧路の文学運動史</b> 鳥居 省三 <u>戦後編</u> 原田康子が著した名作「挽歌」が生まれた街釧路の豊かで多彩な文学風土について探る。 (1,598円)	⑳ <b>釧路の美術・演劇</b> 米坂 ヒデノリ 他 北の街釧路に展開されてきた、熱く、深い芸術活動を紹介します。 (1,598円)	㉑ <b>「朝の食卓」十五年</b> 山本 武雄 昭和38年から15年にわたる暮らしと世相を鋭い意識で切り取った一冊。 (1,598円)
⑳ <b>釧路の産業史</b> 寺島 敏治 釧路の基礎となった代表産業発生期から大戦期の企業合同への道筋を丹念な調査を基に描く。 (1,812円)	㉑ <b>釧路の製紙 下</b> 釧路製紙工業史研究会 戦後の製紙業と地域の関わりを分析し、北の大地に根を下ろした意義を読み取る。 (1,812円)	㉒ <b>永久保秀二郎の研究</b> 中村 一枝 アイヌの人々に温かい眼差しを注ぎ、コタンに生きた永久保秀二郎の教育者の姿を描く。 (1,598円)	㉓ <b>釧路の近世絵図集成</b> 佐藤 宥紹 編 江戸時代の釧路が描かれた絵図を丹念に読み解くことで、当時の世界が解き明かされていく。 (1,812円)
③⑥ <b>釧路港</b> 布施 正 海の街釧路を支えてきた港。その歴史や性格、地域産業との関わりを考察する。 (1,922円)	③① <b>釧路と凍土</b> 矢作 裕 凍土地帯・釧路で長年凍土研究を続けてきた筆者による研究書。 (1,922円)	③② <b>根釧開拓と移住研究</b> 鷹田 和喜三 農村社会学の立場から根釧地域の開拓移住について考察する。 (1,922円)	③③ ③④ <b>坂本友規日誌 上・下</b> 坂本 正男 編 明治17年鳥取土族移住者坂本友規による日誌。開拓時代の人々の息づかいが伝わる。 (各1,980円)
③⑤ <b>遠い日のくしろ</b> 釧路市地域史料室 絵葉書に写し出された20世紀前半の釧路のまちを紹介。豊かで懐かしい世界が広がる。 (1,980円)	③⑥ <b>根釧台地と釧路湿原の地質</b> 岡崎 由夫 二つの国立公園を持つ、釧路の大地と海がどのようにできたかを解き明かす。 (1,760円)	別巻 <b>釧路捕鯨史</b> 釧路市地域史料室 世界、北海道そして釧路の捕鯨の歩みを記録。 (1,760円)	③⑦ <b>阿寒の大自然誌</b> 佐藤 謙 他 阿寒の自然環境、アイヌの人々の暮らしの歴史など、自然と文化の研究成果を収めた一冊。 (2,200円)
③⑧ ③⑨ <b>太平洋炭砒 上・下</b> 嶋崎 尚子 編 太平洋炭砒が日本最後の坑内掘炭鉱になりえた道筋を、経営や技術、生活からたどる。 (各2,200円)	④① <b>古文書に見る近代の釧路地方</b> 高嶋 弘志 古文書や当時の記録から、明治・大正期の釧路地方の発展の道程を読み解く。 (2,200円)	④② <b>釧路の自然災害と酒井 多加志 防災・減災</b> 釧路の自然災害の歴史を伝える記録書であり地域特性から防災の手引きとなる1冊 (2,200円)	
		新修釧路市史 1～4巻 市史編纂事務局 昭和40年代から60年代までの釧路市の歩みがぎゅっとつまつた四巻。 (各5,332円)	目で見える釧路の歴史 市史編纂事務局 釧路市の歩みを写真と図で概観。懐かしい時代の風が明日へ力となる一冊。 (2,986円)

## その他の出版物

※ ( ) 内の価格は税込です。